

自由民主党定期党大会が行われました!



安倍自民党総裁の演説に熱気に包まれる会場

第84回定期党大会に参加しました。二階俊博幹事長の「今年も経済最優先で『経済構造改革』と『働き方改革』の実現に積極的に取り組んでいく」との話をいただき、私、朝日健太郎も自民党の国会議員としての自覚を持ち、国会議員としての責任を果たしていかなければとあらためて決意を固めました。

また、今回の党大会においてはトップアスリートによる座談会が行われ、ゲストスピーカーが青山学院大学陸上の原晋監督、柔道のベイカー茉秋選手、卓球の福原愛選手、車いすテニスの上地結衣選手という3人のメダリストで、党の2020年東京オリ・パラへの熱意が伝わりました。東京都選出の参議院議員として非常に嬉しく思います。



三議連で講演

自民党東京都連三議連総会にて講演。

これまでの私の生い立ちやバレーボール選手・ビーチバレー選手の頃の話を中心に講演し、三議連の皆様と懇談の機会を頂きました。

議員としてはまだまだ新人であり、皆様のご指導を賜りながら、一歩一歩政治家としての活動を進めて参りたいと思います。

都議選必勝!



7月の都議会議員選挙に向けての総決起大会で今井絵理子議員と共に司会を務めました。

60名全員の公認候補者の決意表明と党役員による檄とで、都議選に向けてボルテージが高まってきました。

候補者の真剣な眼差しに、私のハートにも火がつきました! 全力で応援して参ります!



朝日 健太郎 プロフィール

- 1975年 熊本県生まれ。法政大学卒。
- 鎮西高校在学中にバレーボール日本代表に招集。以来、法政大学在学中、サントリー株式会社職中にわたりバレーボール日本代表として活躍。
- 2002年 ビーチバレーボールに転向。2009年 北京五輪、2012年 ロンドン五輪 に出場し、日本男子史上初の勝利を挙げる。
- 競技引退後、NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長に就任し、日本の砂浜海岸の整備や、はだし文化の啓発に取り組む。
- 早稲田大学大学院にて学び、スポーツ産業の育成を通じた経済発展への問題意識を得る。
- 2016年 参議院東京選挙区にて初当選。

【現在】

- 参議院予算委員会委員 参議院国土交通委員会委員
- 自民党ネットメディア局次長 自民党青年局次長 自民党スポーツ立国調査会幹事 自民党教育再生実行本部事務局次長
- 2020年 オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部事務局次長

【平成29年4月現在】



朝日 健太郎 後援会・入会のご案内

朝日健太郎後援会では、朝日健太郎の政治活動にご理解とご協力をいただける方に入会をお願いしております。

日本の明日を、朝日健太郎と共に考え、行動してみませんか?

詳しくは「朝日健太郎事務所」まで、お問い合わせください。

朝日健太郎の活動をツイッター、ホームページ、フェイスブックで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

朝日健太郎 検索

参議院議員 東京選挙区選出

朝日 健太郎

国政レポート Vol.1

Vol.1



(討議資料)

わたくし朝日健太郎は、ビーチバレーボール日本代表として、北京・ロンドンと2度のオリンピックに出場し、2012年に引退をしました。その後スポーツ・ビーチへの恩返しをするためのNPO団体を運営しながら、また2児の父親として子育てをしていくなかで、社会には行政や政策を通じてしか実現できないことが数多くあることに気づかされました。その思いを持ちながら日々活動していく過程で決意し、出馬に至りました。

皆様から託された責任を果たしていく一環として、定期的に国政レポートを作成することにしました。本紙が第一号となります。まだまだ拙い部分が多くありますが、ご一読いただければ幸いです。

初めての国会質問にける思い

「2020 東京オリ・パラから東京・日本を良くしたい!」

- 丸川五輪大臣に2020東京オリ・パラのチャンスをどう活かすのか質問
- 松野文科大臣に各競技団体の経営自立と、スポーツ産業発展・健康政策への影響について質問
- 塩崎厚労大臣にたばこフリー五輪への取り組みについて質問

平成29年3月7日、議員として初めての国会質問の機会を頂きました。しかも予算委員会という、格式の高い委員会での質問ということで何を質問すべきか悩み、多くの方々からの助言を頂きながら、朝日健太郎らしい、己の得意な分野に関わる質問にしようと考えました。その結果、丸川珠代五輪担当大臣には、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の歴史的な位置づけと認識についての質問を軸にしました。そのうえで、松野博一文科科学大臣には、各スポーツ競技団体の経営自立政策と波及効果としてのスポーツ産業の発展と健康・衛生向上について質問を、塩崎恭久厚生労働大臣には『たばこフリー五輪』への決意と政策について質問をしました。

丸川珠代五輪担当大臣からは、本大会は東日本大震災からの『復興五輪』であり、また文化の祭典として地方も巻き込んだ『地方創世五輪』でもあり、更にはパラリンピックの盛り上がりを通じての『心のバリアフリー五輪』にしたいという大きな志を回答に頂きました。



松野文部科学大臣からは、2020年東京オリ・パラを機にスポーツを生活に浸透させることで、健康寿命を伸ばす政策に活かしたいとの答弁を頂きました。塩崎厚生労働大臣からは、公衆衛生の観点、おもてなしの観点、そして子供の健康と未来への観点から『タバコの無いオリンピック』へのあふれる情熱と決意が答弁としてかえってきました。

各大臣からは政治家としての想いのこもった的確な回答を頂きました。この回答を受けて次の質問の際には、もっと具体的な政策提案に繋がるような専門性の高い質問をしたいと考え、現在さらに勉強に励んでおります。

参議院国土交通委員会において質問

参議院国土交通委員会において、初めての質問の機会を頂きました。2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を機に多くの外国人を迎えることとなりますが、その中でも一隻で5,000人もの観光客を運ぶことができるクルーズ船は今後大きな目玉になると考えています。クルーズ船寄港の為の港湾整備を進めることでインバウンドに弾みをつけたいと思い、政府の取り組み状況について質問しました。

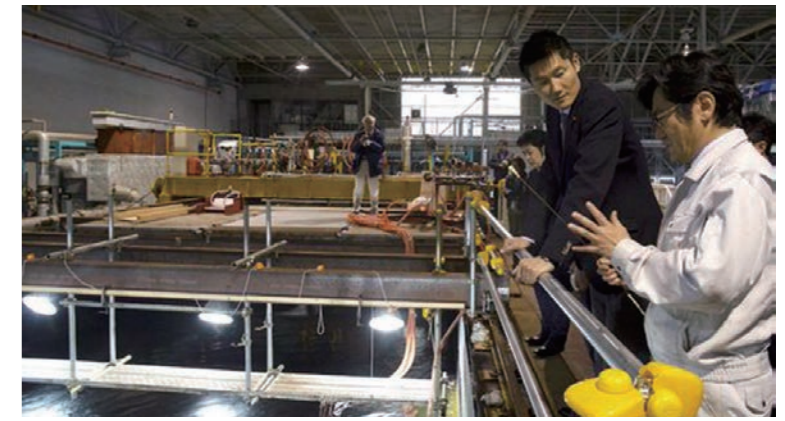
また、1964年東京大会のレガシーとして残る、高速道路や東海道新幹線などの社会インフラといったものが老朽化しており、2020年東京大会を機に整備・拡充を図る必要があることを質問しました。1964年東京大会のレガシーとして残る、約800兆とされているインフラストックを正しく整備し、ポスト2020を見据えた未来型のインフラ整備へと進むよう、しっかり見守っていきたいと思います。



港湾空港技術研究所 視察

横須賀・港湾空港技術研究所を視察しました。津波や地震をシミュレーションする施設、海洋植物によるCO2対策、音波による海底撮影技術など、災害や環境対策における最先端の技術を視察しました。

こうした技術が単に日本国内のみならず、外国とのCO2の排出権などの交渉力の裏付けになるそうで、まさに技術は国力と直結していると感銘を受けました。



地域・まちづくりの原点、『祭り』に参加しました!



江戸三大祭りの一つ、神田明神「神田祭」に行ってきました。地元の方々と一緒に歴史ある御神輿を担がせてもらい、感激です。地域の人々が世代を超えて一体になれる「祭り」は、地域・まちづくりの原点だとあらためて感じました。今後もこうした肌につれあう活動を通して、みなさまのご意見やご希望をうかがっていきたく思います。

『地元のみなさん、ありがとうございました!』
とっても楽しかったです!』



ジャパンビーチゲームズフェスティバル2017が開催されました。お台場海浜公園にてビーチバレーボール、ビーチドッジボール、ビーチフラッグス、スラックライン、ビーチテニス、フライングディスク、フレスコボール等様々な競技が行われました。ビーチにおけるスポーツ文化はまだまだ発展途上ですが、よりよいビーチ文化を構築すべく、これからも色々な企画を用意していきたいと思います!

日本最大の港、東京港を視察

東京および首都圏経済を支える日本最大の港、東京港に伺いました。海上から東京港全体の姿を把握したうえで、さらに、地上からは現在開通工事中の臨港道路南北線を視察しました。

東京港が世界の港に負けないためには、大型化している現代のコンテナ船に対応する必要があります。そのため、現在東京港では、中央防波堤外側埋立地に深さ16mの港を整備しています。

この整備により、積載数1万~2万TEUの大型船が東京港を利用できるようになり、世界基準の港に

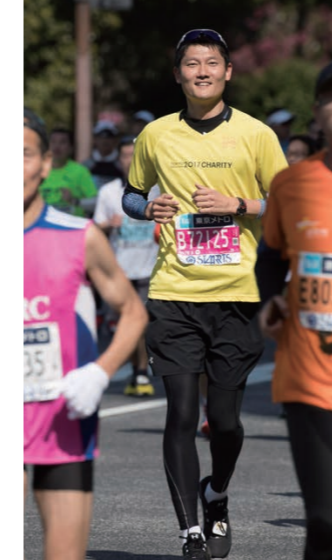


生まれ変わります。大型船が東京港を利用できるようになれば、停泊時により多くのコンテナの積み下ろしが発生します。これをスムーズに、またウォーターフロントとしての環境価値を破壊しないようにするために、道路の整備が必要になります。これが、臨港道路南北線です。臨港道路南北線は、東京港フェリーターミナルを經由して、東京ビッグサイト近くに接続するので、完成すれば首都圏への運搬がとてスムーズに行うことができます。このように、東京港のハードウェアの整備は進みつつありますが、観光資源開発・発掘はまだまだ発展途上にあります。

2020東京オリ・パラの開催によって、ウォーターフロント都市としての東京は世界中からの注目を集めます。これを契機に既存のお台場などと相乗効果を生むような全体デザインを議論・構想していく必要性を大いに感じました。



東京マラソンで完走!



東京マラソン完走しました! タイムは4時間37分21秒! 前日まで会合が続き、練習する時間を日々捻出しながらトレーニングをした結果、なんと自己ベスト! 沿道で応援いただいた皆様感謝するとともに、警察官の警備によるセキュリティの高さと、多くのボランティアスタッフによって運営されている大会に感心しました。2020年の東京オリ・パラ開催にぜひ活かしたいものです。

アジア冬季競技大会 視察

札幌市で開催されたアジア冬季競技大会を視察しました。世界32カ国が参加する冬の祭典は、2018年平昌(ピョンチャン)の前哨戦として、大変盛り上がっていました。視察したのは、クロスカントリースキー、カーリング、アイスホッケー等で、大きなスポーツ大会の運営における問題点や解決方法などを勉強しました。

